

新適時適育

目配り・気配り・心配り

今月は、金山高校の取り組みを紹介します。

一、はじめに

金山高等学校は、昭和23年に創立され、今年で63周年になります。その間、地域に密着した高校として幾多の人材を輩出し、平成23年度で4149名の卒業生となりました。



めぐたま運動会でのボランティア活動

今年1学年35名、2学年35名、3学年38名で合計98名となり、平成24年度より1学年1ク

二、教育課程と授業

教育活動での特徴は、2学期単位制で金山中学校との連携型中高一貫教育を導入していることです。また、18講座からなる「金山タイム」や「インターンシップ」等の地域体験学習を活用したものと、高大連携による「出張講義」や「卒業研究」への指導助言等も挙げられます。さらに各々の進路希望を考慮して、一人ひとりの進路学習をサポートしています。本校は、少人数ならではの肌理の細やかな指導を心掛け、師弟同行の教育実践を展開しています。

また、今年度は新たな学校スローガン『明るく元気 誰もが躍動 我らの金高』を合言葉として、各種の活動に積極的に取り組んでいます。

三、進路状況

平成23年3月卒業の44名の生徒では、明治大学をはじめとする大学進学5名、専門専修学校進学6名、県内就職24名、県外就職7名、公務員1名でした。事前の進路情報の提供や進路指導の強化も含め、更に充実したキャリア教育に努めます。

四、諸活動

ボランティア活動も活発化し、これまでに震災激励寄書メッセージ、東日本大震災ボランティア、町内ゴミ拾い、カムロファーム整地整備・収穫祭、全校通学路清掃（春と秋）、めぐたま祭・運動会、とこみどりマラソン大会、ライオンズクラブ植樹等を実施しました。また、1月下旬から2月にかけては独居老人宅除雪を実施しました。震災以降は有志や部活動単位（スキー・柔道・ソフトテニス）によるボランティア活動へと着実に広がってきました。

また、部活動は運動部が8、文化部が2あり、スキー部・ボート部・柔道部が東北大会や全国



金山タイムの活動から

大会へ駒を進めました。特に柔道女子個人は創部以来初の東北大会出場でした。そのほかソフトテニス部・卓球部が県大会出場で大活躍してくれました。

五、おわりに

本校は最上地区の高校再編整備計画により、平成26年より新庄南高等学校金山校となる予定であり、一つの転換期を迎えることとなります。地元のご協力を得ながら、更に充実した教育実践を展開していかねばならないと考えています。

(文責・金山高校教頭 板垣利美)